

再発見
つかって、
つくって、



DOMA Earthen Floors: Stepping Inside
a Traditional Japanese Home

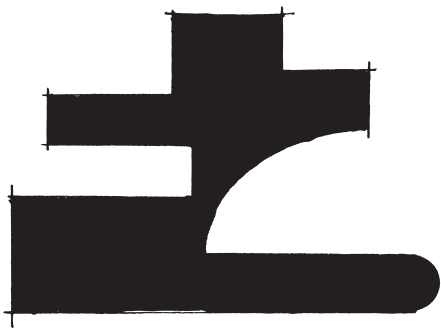
2026.4.25 | 土 | SAT → 10.13 | 火 | 日



主催=INAXライブミュージアム
企画=INAXライブミュージアム企画委員会
協力=川口正樹、久住有生、西川和也、松本憲司
展示デザイン=+建築設計 田代朋彦
会場グラフィック=kobito inc.
フライヤーデザイン=山田和寛(nipponia)



INAXライブミュージアム



日本の住まいは、外と内のあいだに「土間」という豊かな余白をもっていました。屋内でありながら、土足でいられるこの空間では、人が集い、煙が立ちのぼり、手仕事の音が響く。そこは一つの舞台でもありました。

土間は、外からの地続きの場として来客の対応に活用されるだけでなく、かつて主流であった土の床「三和土」は、保温、調湿、耐火、耐水、耐荷重などの機能が備わり、作業場や炊事場、道具や作物の保管場所など、さまざまなものづくりの場としても利用されてきました。近年は、暮らしのなかにおける土間の寛容さ、柔軟さが見直され、現代の建築においても再評価されています。

本展では、味噌づくり、染め、鋳造、接客など、伝統的な活用例をとおして、土間が備えもつ機能にあらためて着目します。また三和土の製作工程や道具類を紹介するほか、素材の配合や仕上げによって表情が異なる床見本も展示します。さらに左官による磨き仕上げの土間床をつくり、実際にその質感を足裏で体感いただけます。これからの住まいづくりのヒントにもなる、土間の魅力や奥深さを再発見していただければ幸いです。

つくつて、
つかつて、
再発見

Japanese homes traditionally had a rich space, the *doma*, that served as a border between exterior and interior areas. While the *doma* is situated inside the house, people entering did not have to take off their shoes. It was a space for people to gather, for smoke to rise, for the sound of hands at work. It was a kind of stage.

The *doma* was used to welcome guests who enter directly from the outside. But it had many other functions as well: the traditional *tataki* earthen floor was capable of retaining heat, controlling humidity, was fireproof, waterproof, and able to bear heavy weight. The *doma* was used as a workshop, a kitchen, and storage for tools and produce. In recent years, the *doma* is garnering renewed attention for its versatility and flexibility, and its potential in modern architecture is being reevaluated.

In this exhibition we hope to shed new light on the *doma*, beginning with its traditional functions: making miso, dyeing fabric, casting metal, welcoming guests, and more. We will also introduce *tataki* earthen floors, how they are made, the tools that are used, and the different expressions they can manifest according to the materials used. We will also have a master craftsman create a polished earthen floor that visitors can experience with their own feet. We hope you will enjoy exploring the fascinating depth of the *doma*. Perhaps the *doma* you encounter here can provide some hints for building homes of the future.



DOMA Earthen Floors: Stepping Inside a Traditional Japanese Home

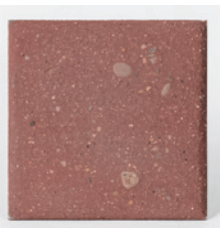
2026.4.25 | 土 | SAT → 10.13 | 火 | TUE

会場：INAXライブミュージアム「土・どろんこ館」企画展示室

開館時間：10:00am～5:00pm（入館は4:30pmまで）

休館日：水曜日（祝日は開館）、5/7 ※8/12は開館

共通入館料：一般：1000円、学生：800円、中高生：500円、小学生：250円（税込、各種割引あり）



1

2

3

4

関連イベント

1、公開制作

「土・どろんこ館」内、小あがりの三和土や「常滑大壁」を手掛けた左官職人・久住有生氏による、磨きの土間床制作の様子を展示室内でご覧いただけます。

公開日——4月25日(土)、26日(日)、5月9日(土)

※作業の進捗次第で制作していない時間帯があります。

2、講演会「土間と縁側と式台」

講師——手塚貞晴+手塚由比(建築家)

日時——2026年7月4日(土)14:00-15:30

場所——「土・どろんこ館」ホール

定員——40名(先着順)

参加費——1000円(税込)

(企画展関連冊子付/別途、入館チケット必要)

※お申込み方法など詳細は、当館ウェブサイトをご覧ください。
<https://livingculture.lixil.com/ilm/>

アクセス

バス

名鉄線「常滑駅」または中部国際空港より知多バス「知多半田駅」行き「INAXライブミュージアム前」下車徒歩2分

お車(乗用車・バス駐車場完備)

名鉄線「常滑駅」より約6分
中部国際空港より約10分(「りんくうIC」降りる)
セントレアライン(名古屋方面から)「常滑IC」より約7分
知多半島道路「半田IC」より約15分

INAXライブミュージアム

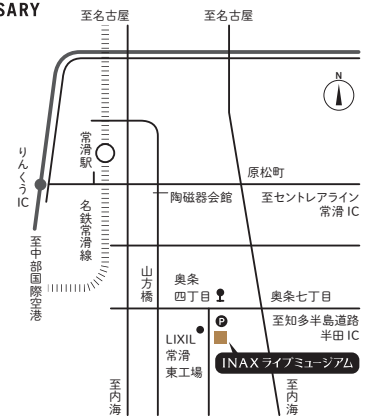
〒479-8586 愛知県常滑市奥栄町1-130
TEL: 0569-34-8282 FAX: 0569-34-8283

<https://livingculture.lixil.com/ilm/>

INAXライブミュージアムはLIXILが運営する文化施設です。



20th ANNIVERSARY



- 重要文化財 旧内田家住宅(南知多町)の「主屋にわ(土間)」
- 土間床見本「かき落としスポンジ拭き取り」/制作・所蔵：久住有生/300×302×H30mm
- 土間床見本「あられこぼし」/制作・所蔵：西川和也/425×425×H45mm
- 土間床見本「土佐漆喰たたき」/制作・所蔵：松木憲司/450×450×H100mm
- 三和土をつくる道具類(左から/金鏝、ブラシ、木鏝、鏝、たたき棒※、木槌)※所蔵：久住有生、それ以外：川口正樹

おもて面の写真=左上/まるや八丁味噌「味噌蔵」、左下/郡上本染渡辺染物店「糺場」、右上/東京藝術大学美術学部工芸科鑄金研究室、右下/濱田庄司記念益子参考館細工場(工房)

撮影すべて：ToLoLo studio

